

貯蔵施設の裾切り指標について

論点：裾切り指標として、どのような指標を採用すべきか。

裾切り指標の案	メリット	デメリット
<p>< 非外形的な指標を用いる > 案 1 VOC の年間貯蔵総量</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ VOC 排出量との相関は大きい。 ・ EUにおいて指標として採用されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設稼働前や立入の際に第三者が指標の値を確認することができない。 ・ 操業率等の変動に応じ、指標の値が変動してしまう。
<p>< 外形的な指標を用いる > 案 2 貯蔵施設の容量</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 潜在的な VOC 排出可能性と相関がある ・ 第三者が指標の値を確認することが容易 ・ 大気汚染防止法、条例、米国において指標として採用されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 操業率が変動する場合、VOC 排出量との相関が低くなる。